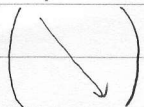


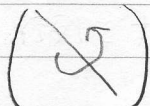
・対角行列



行列のナナメの部分以外が0の行列を対角行列という。

$$\begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix}^n = \begin{pmatrix} a^n & 0 \\ 0 & b^n \end{pmatrix} \text{ となる。}$$

・転置行列



行列のナナメを軸に対称にした行列を転置行列という。

例えば、 $\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 4 & 5 & 6 \\ 7 & 8 & 9 \end{pmatrix}$ の転置行列は $\begin{pmatrix} 1 & 4 & 7 \\ 2 & 5 & 8 \\ 3 & 6 & 9 \end{pmatrix}$ である。

Aの転置行列を A^T と書く。 tA , A^{tr} と書くこともある